

(臨床研究に関する公開情報)

江南厚生病院では、下記の臨床研究を実施しております。この研究の計画、研究の方法についてお知りになりたい場合、この研究にカルテ情報を利用することをご了解できない場合など、お問い合わせがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。なお、この研究に参加している他の方の個人情報や、研究の知的財産等は、お答えできない内容もありますのでご了承ください。

[研究課題名]

臍帯血と他の造血幹細胞移植の治療成績の比較

[研究責任者]

江南厚生病院 血液・腫瘍内科 荒川智哉

[研究の概要]

臍帯血は骨髄、末梢血幹細胞に比してドナーの COVID19 感染による採取延期及び中止のリスクがなく、入手確実性が高いが COVID19 の流行下において治療成績の評価が不十分です。今回、同種造血幹細胞移植 (allo-SCT) の移植幹細胞源において臍帯血 (CB) と他の細胞源としての骨髄 (BM)、末梢血幹細胞 (PB) を比較、検討します。

[研究の方法]

●対象となる患者さん

2008年12月から2023年6月に、当院で血液悪性腫瘍に対して初回 allo-SCT を実施した18歳以上の方。

●利用するカルテ情報

生年月日、性別、診断日、臨床病期、治療 等

[個人情報の取扱い]

この研究では、お名前、住所など、患者さんの直接特定できる個人情報は使用しません。研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

[問い合わせ先]

●研究責任者：江南厚生病院 血液・腫瘍内科 荒川智哉

電話 0587-51-3333